

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月10日作成)

小委員会名	地場の造形小委員会	主 査 名：大沼正寛 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：神吉紀世子
設 置 期 間	2022年4月 ～ 2026年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	次世代の地域において「地域をつくる」手がかりとなる「地場の造形」について、事例別の深掘り比較研究を行い、新たな建築設計・生産論の導出をめざす。 初年度：多様な視点を得るための大会パネルディスカッションの企画・実施 2年度：大会PDで得られた視点を深掘りするオーガナイズドセッションの実施 3年度：議論をふまえて研究協議会や公開研究会等を行い、発信方法を模索する 4年度：発信およびとりまとめ、ネクストフェーズの活動検討	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：大沼正寛(東北工業大学) 幹事：下田元毅(大手前大学) 委員：阿部正(ノーマルデザイン・アソシエイツ)、池ノ上真一(北海商科大学)、稲地秀介(摂南大学)、魚谷繁礼(魚谷繁礼建築設計事務所)、梶浦暁(梶浦暁建築設計事務所)、栗原広佑(東北工業大学)、菅原香織(秋田公立美術大学)、津村泰範(長岡造形大学)、戸田都生男(ものづくり大学)、渡辺菊真(高知工科大学)	
設置WG (WG名：目的)		
2022年度予算	130,000円	ホームページ公開の有無：有 委員会HPアドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	9回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：地場の造形はふたたび見いだせるか 『農村計画部門パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 55名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 大会PDを予定通り実施し、盛況を得、議論を深めることができた。 2. 大会PD資料の「気になる地場の造形」を皮切りに発信素材収集に着手した。 3. 小委員会を計9回と、活発に議論を重ねることができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 地場の造形の基礎概念の検討に対し、農山漁村の造形要素の再評価をどう考えるかは、再考、継続検討の必要がある。 2. 情報の蓄積と発信、掘り起こしなどについて構想を具現化する必要がある。